

福島県会津農林事務所農業振興普及部（福島県会津若松市）

R5補正
R6当初



背景・課題

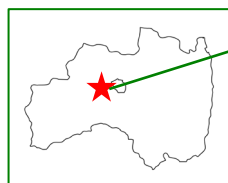
会津若松市では、約40年前よりリンゴを生産してきたが、担い手の高齢化や労力不足により適期作業が行えない状況にあり、作業負担増などの課題がある。そこで、本事業を活用し「天敵製剤の活用」と併せて「自動草刈機」を導入した栽培体系を検証している。

成果目標

- 対象品目（リンゴ）の作付目標面積
：77ha（令和5年）→77ha（令和11年）
- うち、グリーンな栽培体系に取り組む面積
：0ha（令和5年）→7ha（令和11年）

主な取組内容

- 天敵製剤の放飼と下草の高刈り管理による殺ダニ剤散布回数の削減
殺ダニ剤散布回数 5回 → 2回（目標）
- 自動草刈機による除草管理時間の削減と作業負荷低減
20a当たりの作業時間 乗用草刈機100% → 自動草刈機20%（目標）



会津若松市

実施体制

福島県会津農林事務所農業振興普及部
会津若松市リンゴ生産者
会津若松市農政課
会津よつば農業協同組合
和同産業株式会社
農業総合センター果樹研究所

品目

りんご（露地栽培）



ロボモア
KRONOS MR-30IH、
充電ステーション MR-30IS、
太陽光パネルKIT一式



現地検討会
（生産者を対象
に開催し、技術
内容を検討）



天敵製剤のバンカーシートによりハダニ類を抑制（リンゴの主要害虫「ハダニ」の天敵「カブリダニ」を大量増殖して製品化している）



下草を高め刈り、土着天敵（カブリダニ）を保護する

普及に向けた取組

「グリーンな栽培体系及び防除暦マニュアル」を作成し、生産者への配布や説明会、HP等により情報発信を行い、会津若松市内におけるリンゴ生産者の理解促進を図り、作付面積の維持につなげる。

また、これらの先進的な取組を会津地方の各産地へ波及させる。

問い合わせ先

福島県会津農林事務所農業振興普及部
TEL：0242-29-5307